

# ネット社会における医療機関の情報提供について ～ホームページの作成・企画・運営～

医療ビジネス科 2年生 一同  
発表 小林 江口

## 1 はじめに

私たちはインターネットの普及、ニーズの高まりにより「情報」は社会になくはならないものであると考えた。ネット社会の発達は、医学・医療の分野にも大きな影響を及ぼしている。

そこで、医療ビジネスの仕組みを学ぶため、病院のホームページを作成し、情報を発信してみようと考えた。

## 2 研究の目的

- ①ホームページの必要性や役割を学ぶ。
- ②各病院の情報をホームページとして提供。病院のメリットとして、一般のホームページ作成業者に依頼するより、安価で情報発信ができる。
- ③ホームページを作成するうえで医療機関の先生や担当者との関わりを持ち、医療方針や運営等の意見を聞き、情報化社会で活躍できる医療従事者としての社会性とビジネス知識を身につける。
- ④作成料として頂いたお金を募金として「公益財団法人ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティー・ジャパン」に寄付。

備考：「公益財団法人ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティー・ジャパン」とは、難病や重症の子どもを持つ患者様の家族のための宿泊施設。

## 3 研究方法

- (1) 医療機関を調査 (HP あり・なし)
- (2) 病院を選ぶにあたってのアンケートの実施 (医健生)

- (3) ホームページレイアウトのサンプル作成⇒病院訪問
- (4) 医療機関からの要望をもとに HP 作成
- (5) 作成料⇒募金

- ## 4 ホームページ作成 (要望・問題点など)
- ①コスト ②地図 (場所) ③診療科予約があるかどうか ④お金がいくらかかるか ⑤待ち時間 ⑥明細書
  - ⑦施設の清潔さ ⑧先生の紹介
  - ⑨診療日・診療時間 ⑩予防注射有無
  - ⑪外観・施設 ⑫医療機器

## 5 総合所見

最初は電話での交渉やホームページを作るという初めてのことで、不安が大きかったが、回数を重ねアドバイスをもらうことによって、自分のものとなり自信がいった。

また、作成料をいただき募金することによって、社会貢献ができた。

今回ホームページ作成に携わり、医療機関の選択の一つとしてホームページでの情報提供や情報化社会に対応できる医療従事者が必要と感じた。

## 6 謝辞

今回、ホームページを作成する上でお世話になった病院や診療所の方々、アンケートにご協力いただいた学生の皆様、先生方に深く御礼申し上げます